

(様式第1号)

## 市民との意見交換会実施報告書

開催日時	令和4年7月26日(火) 14時30分 ~ 16時00分			開催場所	鶴岡市役所3階委員会室	
出席議員	氏名	役割	氏名	役割	氏名	役割
	秋葉 雄	座長	尾形 昌彦	司会	渋谷 耕一	受付
	坂本 昌栄	記録	工藤 博	記録	草島 進一	撮影・録音
	石塚 慶	議会だより				
欠席議員	なし					
テーマ	建設業における原材料高騰の影響及び市の公共工事の受発注の現状について					
団体等の名称	建設業関係者(県建設業協会2人・商工会議所1人・管工事共同組合2人・田川建労1人)				参加者数	6人
実施内容 (概要等)	建設業における現在の状況と問題、本市の課題等について意見を伺った。					

※主な意見及びその回答は、別紙のとおり

令和4年8月26日

鶴岡市議会議長 様

産業建設班 代表者 秋葉 雄

参加者の主な意見等	議員の主な発言等	分類			
		I	II	III	選択理由等（自由記載）
資材全般の価格が高騰するなかで、公共工事は物価スライドによる契約も可能であるが、民間工事はその様な契約は困難である。		○			
工事全般が年度末に集中するため、働き手が不足する傾向にある。	年間を通した工事によって、働き手が確保できるようにすることが大切であると感じた。	○			
原材料費が高騰しているのに対し、二次製品の価格は据え置きとなっているため、生産すると赤字になる。		○			
議会承認が必要となる契約変更の場合、工期の空白が生じないようにできないか。		○			
デジタルトランスフォーメーションの導入に関する研究が必要と感じている。		○			
設計や作業にデジタル化やロボット化が導入できれば、若い人に関心を持ってもらえると感じている。		○			
本市における水道管の耐震化を急ぐ必要を感じている。	令和3年度末、基幹管路の耐震化は32.28%、整備管路（災害時に重要な管路）は12.5%である。	○			
工事関係の提出書類が多いので、簡素化してほしい。	国や県に提出する書類もあるので、簡素化は簡単に出来ないと思うが、市に提起してみてもどうか。	○			
公共工事を発注する際、4週8休による工期を考えて設計してほしい。	余裕のある工期になっていると思うが、困難な場合は市に相談してみてもどうか。	○			
2022年4月から、石綿の事前調査結果の報告制度がスタートしたため、解体工事が簡単にできなくなった。		○			
石綿の事前調査結果の報告制度に関する研修会(県)の参加人数を増やすよう市としても要望してほしい。			○		県の担当部署に要望 水大気環境課大気環境担当

上下水道部の工事で発生した残土置場の確保は、市で確保してほしい。		○			
災害対応の協定を行っているが、豚熱処理時の指揮に当たって、市が主体的な役割を果たせないのか。	豚熱処理は県主導で実施しており、市も県の動員に応じる体制になっている。	○			

分類Ⅰ：今後の市議会活動の参考意見とするもの 分類Ⅱ：執行機関に伝えるもの 分類Ⅲ：議会（常任委員会、特別委員会、議会運営委員会、広報広聴委員会等）として調査・検討を行い、その対応を明らかにするもの